

## 地元活性化探究プロジェクト

~Explore our local community and ourselves~

### 第5回

## 中津川市域学連携活動発表会に参加しました。

中津川市は、中京学院大学をはじめとする様々な大学と地域の発展、また優れた人材の育成を目指し、域学連携事業を展開しています。昨年の中津川市をキャンパスに実習をおこなった大学生は8,000人に及ぶとのこと。

中津高校でも地域課題探究型学習事業において地域に関する授業などを活発に行っています。

今回、第5回目となる中津川市域学連携活動発表会には、全国各地の大学生に加え、本校生徒3名が参加しました。



11 住み続けられるまちづくりを



2年生有志からなる3名は、秋に行われた岐阜県主催の英語プレゼンテーション大会に出場し、「地域×SDGs」についてプレゼンテーションを行いました。そこでの発表内容をベースに、今回の域学連携活動発表会でもプレゼンターを務めました。

主な発表内容は中津川市の課題として人口減少問題に焦点をあて、解決策として魅力ある街づくりを提案。SDGsゴール11「住み続けられるまちづくりを」を取り上げました。

## ♪参加者 3 名からの感想を掲載します♪

### 2A 山下晶子さん(写真中央)

中津川市にはこんなにも多くの大学生が自分の地元でもないのに実習されていることにとても驚きました。と同時に地元にいる私たちにどうしてその活動があまり認知されていないのか、なかなか町の現状に変化がないように思われているのか、活動者と住民との間に認識のズレがあるように感じました。なので、高校生の私たちがお手伝いできればもっと地域に近い立場で課題が見えてくるのではないかと思います。



### 2D 原優沙さん(写真左)

今回の取り組みを通じて、私たちの住む町の魅力や課題に気づくことができました。また様々な大学の取り組みを詳しく知り、中津川を盛り上げてくれるサポーターがたくさんいることに感動しました。

閉会后、青山中津川市長が直接私たちに話しかけてくださり、将来中津川に貢献できるようになりたいという気持ちが一層強くなった。

### 2D 原 楓彩さん(写真右)

様々な大学生の話しを聴き、私たちにはない専門的な観点から課題を分析されており、とても勉強になりました。そして今まで気付かなかった新たな課題まで知ることができ、大変興味深かったです。また私たちも今回の取り組みを通して中津川の課題やすべきことについて明らかにすることができました。将来的には、試行錯誤しながら、自分の生まれ育った中津川に貢献できたらと思います。